

Minami Kyushu University Syllabus

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2023年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		管理栄養学科／食品開発科学科		
科目名称	英会話Ⅱ					授業形態	講義		
科目コード	142000	単位数	2単位	配当学年	2	実務経験教員		アクティブ ラーニング	
担当教員名	ブライアン・スモル							ICT活 用	
授業概要	授業の目的は広く役立つ言葉を創造的に使えるようになることである。 日常の状況を英語で表現できるようになること。 「英会話Ⅰ」で習った英語を土台にして、表現できる範囲を広くして行くことである。 食に関することを具体的な英語で表現できるようになる。								
関連する科目	「英会話Ⅰ」 本科目の履修前に必ず受講してください								
授業の方法と進め方	1. ライブ シチュエーション：実際の物と動作で言葉・センテンスの意味を見て、経験する。 2. ペアワーク：小グループで実部を使って、動作しながら言葉を使う。 3. 線画：ホワイト・ボードで線画を見て、経験した言葉・センテンスを言う、書く。 3. ワークシート：A4紙のシチュエーションの線画に合わせて、文を書く。 4. 回収：ワークシートの学籍番号と氏名を見て名簿を記入する。 b. 先生がワークシートを訂正して返します。 次回の授業の始めに学生が教室に入ったら、ワークシートを参考(復習)にする。								
授業計画【第1回】	English Through Pictures(絵で見る英語Ⅰ EP1) pages 30-34 Questions, Review of pages 1-29								
授業計画【第2回】	EP1 pages 35-36 1. will be, from, the numbers, days, months								
授業計画【第3回】	EP1 pages 36-37 1. with, from, go, will be,								
授業計画【第4回】	EP1 pages 38-39 1. together, but, not, again, were								
授業計画【第5回】	EP1 pages 40-41 1. one, the other, open, shut, see, does not see								
授業計画【第6回】	EP1 pages 42-43 1. have, has, say, is saying, said, not								
授業計画【第7回】	EP1 pages 42-43 1. between, have, had, shelf								
授業計画【第8回】	EP1 pages 44-45 1. under, over, between, shelves								
授業計画【第9回】	EP1 pages 44-45 1. before, parts of,								
授業計画【第10回】	EP1 pages 46-47 1. What do you see?								
授業計画【第11回】	EP1 pages 48-51 1. which, but, see, not								
授業計画【第12回】	EP1 pages 48-51 1. which(question), see								

授業計画 【第13回】	EP1 pages 48-51 1. which(question) part, town, thing, country
授業計画 【第14回】	EP1 pages 50-51 1. has, on, chest
授業計画 【第15回】	EP1 pages 52-57 review questions Review: - in, at, under, on, over, between, see - saying, see, has, one, the other, of
授業の到達目標	「英会話I」よりも多くの英単語と文章型を使ってより深く言語と学びを考えるようになること。
学位授与の方針 (DP)との関連	1.知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1.知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2.汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3.人間力、社会性、国際性の涵養-(3)
授業時間外の学習 【予習】	「絵で見る英語」を熟読し、授業で経験した内容を把握する」 「把握した内容から、 次回のステップを推測する。 ギリギリだけでまだ言えない場面はどんな場面か考える」
授業時間外の学習 【復習】	「把握したセンテンスをどれぐらいの場面に応用できるか考える。」 「教科書の展開のしかたと授業の展開が違う場合はどこが違うか、比較して一步一步の学習プロセスを考える」 「授業で紹介したオンラインでフリーなトランスクリプト（リーディング）とビデオ（リスニング）を参照にする。」 「授業で紹介した作家のエッセーや本などを読んで考える」
課題に対する フィードバック	ワークシートの線画に書く文の訂正。 独自の線画と文章の訂正。 ワークシートの感想・コメント欄の返事
評価方法・基準	授業とワークシートの努力20点、定期テスト80点
テキスト	「絵で見る英語 Book 1 改訂新版 English Through Pictures Book 1」 I・A・リチャーズ（共著）、クリスティン・ギブソン（共著）
参考書	- 「FIRST Steps in Reading English」 絵で読む英語」 - I・A・リチャーズ（著者）、クリスティン・ギブソン（著者） - 「絵で見る英語 Book 2 改訂新版 English Through Pictures Book 2」 - 「絵で見る英語 Book 3 改訂新版 English Through Pictures Book 3」 - I・A・リチャーズ（共著）、クリスティン・ギブソン（共著） - 出版社：IBCパブリッシング - 「ベーシック先生の基本動詞でこれだけ言える英語術」 著者：A Group of Basic English Teachers 出版社：松柏社
備考	ワークシートの様子を見てから内容・順番を変えることがある。 ワークシートの学籍番号と氏名が出席管理に使用する。 - 教科書を授業に持って来る。 - 授業が始まる前に前回のワークシートを取って、参考にする。 - 授業に入る前から携帯電話の電源を切る。 - 携帯をバッグに入れておく。 - 毎回、ワークシートの絵に合った英語文章を書く。 - ワークシートに学籍番号と名前を記入 - 学籍順にワークシートを集めて提出する。 - ワークシート提出が出席の証拠 - 最初は英語が簡単だがしっかり授業を開かないと、その簡単な英語すら言えなくなる。 - 毎授業ごとに新しい単語が加わる。 - よって、一度でも欠席すると次回の講義は理解が困難になる。 - しっかり授業を15回受けていれば理解できる。 - 再試は行なわない - 暗記ではなく、考えて書く試験であるので短期間の独学で習得は無理である。